

政策情報学会

第5回研究大会



2009年11月14日(土)

会場 北九州市立北方キャンパス

第5回研究大会の開催にあたって

「サステイナブル社会の構築と政策情報——東アジア、環境、エコビジネス」

第5回研究大会実行委員長
中道 壽一

18世紀後半の産業革命に端を発する今日の地球環境問題は、これまでの社会・経済システム、文化、ライフスタイルなどあらゆる領域において根本的な見直しを迫っている。大量生産・大量消費の経済システムによる天然資源の枯渇化、人口の爆発的増加による土地の過耕作と劣化、工業化や技術化の進展による大気・水・土壌などの汚染化と生態系バランスの崩壊、さらには衣食住における汚染と偽装による社会不安とリスク社会の出現などといった危機的状況に対する深い反省の上にたち、人間の英知と経験、技術をもって、この未曾有の危機的状況に対処しようとする試みこそ、「サステイナブル（持続的発展の可能）な社会」の構築である。

また、地球環境問題をめぐる諸問題の解決を考えていくうえで、東アジアはきわめて重要な位置と役割を有している。なぜなら、東アジアにおいて、「地球環境問題をめぐる一連の問題群の縮図ともいえるべき状況が凝縮的に示されている」からである。すなわち、「東アジアの奇跡」と言われるように、経済的には「輝かしく躍進する東アジア」であっても、環境の面では「いくつもの難題に直面している東アジア」だからである。にもかかわらず、近代化の「弊害が極限にまで集積し露呈したところ」において「人間の生き方や価値観の転換」が始まるのであれば、東アジアこそ、サステイナブルな社会を構築するために、自然と共生する知恵と技術の創出や、新しいエコスタンダードへのパラダイム転換を行うにふさわしい地域ということができよう。

そして、こうしたサステイナブルな社会を実現するための「有効な取り組み」の一つとして位置づけられているものこそ、エコビジネス（環境ビジネス）である。エコビジネスは、環境への取り組みに経済的インセンティブを与えることによって環境への取り組みの普及と継続を可能にするものであるが、このエコビジネスを拡大・定着させるためにも、1) 新しいエコシステムへの転換 2) 自然環境の保全と生態系の回復 3) 資源循環型社会の構築と温暖化対策 4) 途上国の環境問題への対応という課題のアジア的解決・克服が必要なのである。

以上のような認識を踏まえ、2009年度政策情報学会研究大会では、東アジア、環境、エコビジネスをキーワードとして、政策情報学がサステイナブル社会構築のためにいかなる貢献をなしうるかについて議論を深めたい。

大会参加要領

1. 受付 2009年11月14日(土)
9時00分～16時30分：北九州市立大学北方キャンパス
本館4階 C401教室前
2. 大会参加費 一般会員：1,000円
学生会員：1,000円
非会員：1,000円
北九州市立大学の学部・大学院生：無料(学生証をご提示下さい)
※学生会員の方は、身分証明書を提示して下さい。
※参加費には、予稿集および資料代が含まれています。
3. 懇親会費 一般会員：4,000円、学生会員：2,000円、非会員：4,000円
※研究発表を行なった北九州市立大学の学部・大学院生は無料となります。
4. 学会費の納入 当日受付で、学会の入会申し込みおよび学会費(年会費)の納入を受け付けます。
一般会員10,000円、学生会員3,000円、賛助会員30,000円(一口)
5. 学会発表・シンポジウム ①1人あたり、発表は15分とします。
②シンポジウムは、14時55分より16時55分です。
6. 欠席の場合 止むを得ない事情により、学会発表者が万一欠席される場合には、大会前日までに学会事務局までご連絡下さい。なお、発表取り消しがあった場合でも、プログラムの発表順を繰り上げることはありません。
7. お問い合わせ 政策情報学会事務局
〒603-8577
京都府京都市北区等持院北町56-1 立命館大学周瑋生研究室
E-Mail：API-jimu@cuc.ac.jp
8. 大会実行委員会本部 〒802-8577
福岡県北九州市小倉南区北方4-2-1 北九州市立大学
大会実行委員会委員長 中道寿一
TEL：093-964-4213
E-Mail：nakamiti@kitakyu-u.ac.jp
9. 会場 研究発表会場①〔特別部会〕：北方キャンパス本館4階 D401教室
研究発表会場②〔合同部会〕：北方キャンパス本館4階 D402教室
基調講演会場：北方キャンパス本館4階 C401教室
シンポジウム会場：北方キャンパス本館4階 C401教室
10. 懇親会会場 北方キャンパス内 本館地階 カフェテリア

会場 北九州市立大学

〒802-8577 福岡県北九州市小倉南区北方4-2-1

主催 政策情報学会

〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1 立命館大学周瑋生研究室(事務局)

E-Mail：API-jimu@cuc.ac.jp

協催 立命館サステイナビリティ学研究センター

プログラム

◆11/14 (土)

受付	
9時00分～16時30分	北方キャンパス 本館4階 C401教室前
第6回総会	
9時15分～9時50分	北方キャンパス 本館4階 C401教室 総会報告者：小泉國茂（政策情報学会事務局長） 高橋俊行（政策情報学会事務局会計担当） 議 長：仲上健一（政策情報学会会長） 休憩時間（10分）
研究発表	
10時00分～12時00分	〔特別分科会〕「環境ガバナンスと環境情報 —政策情報・知識の分析と活用—」 北方キャンパス 本館4階 D401教室 セッション① [10時00分～12時00分] 司 会：中道壽一（北九州市立大学法学部政策科学科教授） コメンテーター：周 瑋生（立命館大学政策科学部教授） 発 表： (1) 「気候変動問題に関する政策アイデアの共有と対立 —アメリカ政府・議会・州政府・民間レベルにおける多元的取り組み—」 小尾美千代（北九州市立大学外国語学部国際関係学科准教授） (2) 「政策過程における市民の意思形成と知識の活用について —ドイツの cell planning を中心として—」 篠藤明德（別府大学文学部人間関係学科教授） (3) 「企業の温暖化対策としての環境情報について —LCA の CO2 の表示を中心として—」 巖斗鎔（佐賀大学教授） (4) 「環境ガバナンスの成功条件に関する研究 —環境情報公開制度の実施過程を中心として—」 申東愛（北九州市立大学法学部政策科学科准教授）
	----- 〔合同部会〕 北方キャンパス 本館4階 D402教室 セッション② [10時00分～12時00分] 座 長：若井郁次郎（大阪産業大学人間環境学部教授） 発表者：準備中

昼食休憩	
12時00分～13時10分 (第22回理事会)	北方キャンパス 本館4階 B403教室
開会挨拶・開催校挨拶	
13時10分～13時30分	北方キャンパス 本館4階 C401教室 開会挨拶：仲上健一(政策情報学会会長) 開催校代表：矢田俊文(北九州市立大学学長) 休憩時間(5分)
基調講演	
13時35分～14時45分	北方キャンパス 本館4階 C401教室 テーマ：「北九州、東アジア、低炭素社会」 基調講演者：国武豊喜(財)北九州産業学術推進機構理事長 司会：中道壽一(北九州市立大学法学部政策科学科教授) 休憩時間(10分)
シンポジウム	
14時55分～16時55分	北方キャンパス 本館4階 C401教室 テーマ：「サステイナブル社会の構築と政策情報 ——東アジア、環境、エコビジネス」 コーディネーター：仲上健一(立命館大学政策科学部教授;政策情報学会会長) パネリスト：申 東愛(北九州市立大学法学部政策科学科准教授) 松岡俊和(北九州市環境局環境モデル都市担当理事) 松本 享(北九州市立大学国際環境工学部教授) 周 瑋生(立命館大学政策科学部教授) 鶴田 暁(環境テクノス株式会社 代表取締役)
閉会のあいさつ	
16時55分～17時05分	北方キャンパス 本館4階 C401教室 大会実行委員長：中道壽一(北九州市立大学法学部政策科学科教授)
懇親会	
17時10分～19時10分	北方キャンパス内 本館地階 カフェテリア ◆懇親会費 一般会員：4,000円 学生会員：2,000円 非会員：4,000円

特別分科会について

「環境ガバナンスと環境情報 —政策情報・知識の分析と活用—」

北九州市立大学法学部
政策科学科准教授
申 東愛

◆趣旨

政策科学とは、人間社会における様々な現象と問題を理解し、合理的に解決するために必要な知識とその過程を分析するものである。これには、政策過程に関する理論的な研究とともに、政策決定の根拠となる知識（情報）が欠かせない。しかし、多くの政策研究が、政策決定をめぐる各アクターの構造やその利害関係（Interest Politics）、制度論（特に、歴史的制度論）、政策プロセス（政策ステージ）に集中され、個別政策に関する知識や情報が分析されてこなかった。一方、政策問題は、多様な時間的パラダイムのなかで、益々複雑化・多様化されるばかりではなく、ローカルな問題（環境・経済）からグローバルな政策 이슈（地球温暖化・金融危機など）にいたるまで、もはや政策空間も多極化されつつある。

本分科会では、以上のような認識のもとで、「政策科学の理論的探求」と「個別政策における科学的知識や情報の分析とその活用」の融合およびこの二つの弁証法的展開を試み、環境政策における政策情報・知識の分析と活用について議論する。とりわけ、ローカルから東アジア、また、持続可能な社会形成へとつながる地球温暖化問題を中心として、知識と情報が政策過程の合意形成にいかに関与し、反映されるかについて議論する。

◆発表と概要

- (1) 「気候変動問題に関する政策アイデアの共有と対立
—アメリカ政府・議会・州政府・民間レベルにおける多面的取り組み—」
小尾美千代（北九州市立大学外国語学部国際関係学科准教授）
- (2) 「政策過程における市民の意思形成と知識の活用について
—ドイツの cell planning を中心として—」
篠藤明德（別府大学文学部人間関係学科教授）
- (3) 「企業の温暖化対策としての環境情報について
—LCA の CO2 の表示を中心として—」
巖斗鎔（佐賀大学教授）
- (4) 「環境ガバナンスの成功条件に関する研究
—環境情報公開制度の実施過程を中心として—」
申東愛（北九州市立大学法学部政策科学科准教授）

政策情報学会第5回研究大会 基調講演

テーマ：「北九州、東アジア、低炭素社会」

基調講演者

国武 豊喜

(くにたけ とよき)

財団法人 北九州産業学術推進機構 理事長

学位：Ph. D. (ペンシルベニア大学大学院；1962年)

専攻：高分子化学、分子組織化学

学歴：1958年3月 九州大学工学部応用化学科 卒業
1960年3月 九州大学大学院工学研究科 修了
1962年8月 ペンシルバニア大学大学院化学専攻博士課程 修了

職歴：1962年9月 カリフォルニア工科大学 博士研究員
1963年10月 九州大学工学部 助教授（合成化学科）
1974年4月 九州大学工学部 教授
（合成化学科、応用物質化学科、物質科学工学科）（1999年3月まで）
1992年4月 九州大学工学部長（1994年3月まで）
1999年4月 北九州大学 教授、同 国際環境工学部設置準備室長（1999年9月まで）
1999年10月 理化学研究所 プロテイン研究システム時空間機能材料研究グループ
グループディレクター及びトポケミカルデザイン研究チームリーダー（2007年9月まで）
2001年4月 北九州市立大学国際環境工学部 教授
4月 北九州市立大学 副学長（2008年3月まで）
2007年10月 理化学研究所 プロテイン研究システム 客員主幹研究員
株式会社ナノメンブレン 取締役最高技術責任者
2008年4月 財団法人北九州産業学術推進機構 副理事長
2009年3月 同 理事長

表彰：高分子学会賞（1978年）、日本化学会賞（1990年）、紫綬褒章（1999年）、
日本学士院賞「合成二分子膜の発見と分子組織化学の開拓」（2001年）、
文部科学大臣賞（産学官連携功労者表彰）（2007年）、文化功労者（2007年）

主要論文：T. Kunitake and Y. Okahata, "A totally synthetic bilayer membrane", J. Am. Chem. Soc., Volume 99, pp. 3860-3861 (1977). (世界で初めて人工での脂質二分子膜形成を達成)

主要著書：岩波講座 現代化学への入門〈16〉超分子化学への展開 (2000/12) 岩波書店
ナノマテリアルハンドブック (2005/02) エヌ・ティー・エス
図解 高分子新素材のすべて—21世紀の機能材料をひも解く(2005/05) 工業調査会
Supramolecular Chemistry - Fundamentals and Applications: Advanced Textbook (2006/6/30)Springer, 1版
超分子サイエンス&テクノロジー —基礎からイノベーションまで—(2009/5/15) エヌ・ティー・エス

昼食について

北方キャンパス内においては、以下の場所において昼食をとることが可能となっております（場所については、「構内案内図」をご参照ください）。また、本館地階に生協のショップがありますので、そちらもご利用ください。

カフェテリア食堂	厚生会館1階にあります。 セルフバーでは、好きなメニューを好きな量だけ選んで食べることができます。週替わりのカフェテリアメニュー、めん類やドングリものも提供しています。
パーラー	本館地階にあります。 焼きたてパン、サンドイッチ、おにぎり、弁当、お菓子や飲料などをそろえています。

日帰りを選択される参加者の皆様へ

11月14日中に関東・関西方面へお帰りの参加者の皆様は、19時台に北九州市立大学北方キャンパス前の「競馬場前駅」からモノレールにお乗りになってください。そうしますと、23時台に目的地までお帰りになることができます。

北九州市立大学から京都駅までの日帰りの目安	
19:24~19:36	競馬場前駅⇒小倉駅（北九州モノレール 小倉行）
19:47~22:14	小倉駅⇒京都駅（新幹線のぞみ号 名古屋行）〔新大阪到着は21:58〕
※あくまで概算の時間を計算したものであり、11月14日の終電の目安としてください。	

北九州市立大学から東京駅までの最終便の目安	
19:24~19:36	競馬場前駅⇒小倉駅（北九州モノレール 小倉行）
19:50~20:25	小倉駅⇒新北九州空港（空港連絡バス 新北九州空港行）
21:00~22:35	新北九州空港（スターフライヤー 羽田空港行）
22:50~23:12	羽田空港第1ビル⇒浜松町駅（東京モノレール 浜松町行）
23:18~23:24	浜松町駅⇒東京駅（山手線 東京・上野方面行）
※あくまで概算の時間を計算したものであり、11月14日の終電の目安としてください。	
※特に、航空便は数ヶ月前にならないとわかりません。ご注意ください。	

交通案内

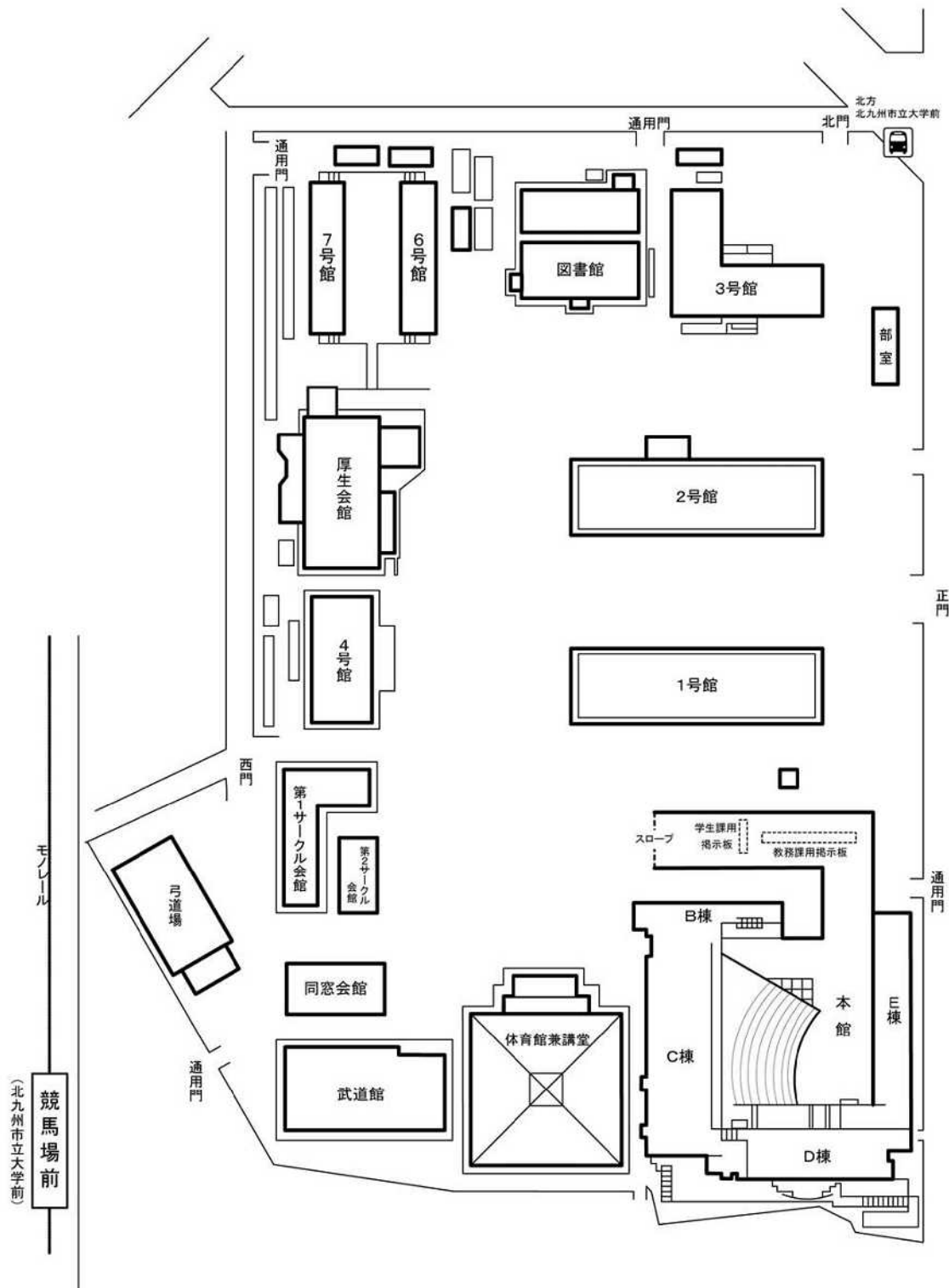


**北九州市立大学
北方キャンパス**

<p>北九州モノレール 小倉駅 (小倉駅ビル3F) 約10分 ↓ 競馬場前駅 (北九州市立大学前) 徒歩にて 約5分 ↓ 北九州市立大学 北方キャンパス</p>	<p>福岡・天神バスセンター 高速バスにて約70分 ↓ 北九州市立大学前 競馬場前 徒歩にて約2分 ↓ 北九州市立大学 北方キャンパス</p>
--	---

キャンパス所在地：〒802-8577 福岡県北九州市小倉南区北方4丁目2番1号

構内案内図



政策情報学会 第5回研究大会実行委員会

◆委員長

中道壽一 (北九州市立大学法学部政策科学科教授)

◆委員

狭間直樹 (北九州市立大学法学部政策科学科准教授)

松田憲忠 (北九州市立大学法学部政策科学科准教授)

森 裕亮 (北九州市立大学法学部政策科学科准教授)

横山麻季子 (北九州市立大学法学部政策科学科准教授)

篠原佑美 (前純真女子短期大学助教)

中野次吉 (北九州市立大学法学部政策科学科非常勤講師)

山野直弼 (北九州市立大学大学院社会システム研究科博士課程修了者)

若井郁次郎 (大阪産業大学人間環境学部生活環境学科)

加藤久明 (立命館グローバル・イノベーション研究機構研究員)

田中善紀 (立命館サステイナビリティ学研究センター客員研究員)

[全体統括]

中道壽一 (北九州市立大学法学部政策科学科教授)

[プログラム編集担当]

若井郁次郎 (大阪産業大学人間環境学部生活環境学科)

加藤久明 (立命館グローバル・イノベーション研究機構研究員)

[予稿集編集担当]

田中善紀 (立命館サステイナビリティ学研究センター客員研究員)

[研究発表担当]

若井郁次郎 (大阪産業大学人間環境学部生活環境学科)

狭間直樹 (北九州市立大学法学部政策科学科准教授)

松田憲忠 (北九州市立大学法学部政策科学科准教授)

森 裕亮 (北九州市立大学法学部政策科学科准教授)

横山麻季子 (北九州市立大学法学部政策科学科准教授)

[会場・備品手配担当]

加藤久明 (立命館グローバル・イノベーション研究機構研究員)

狭間直樹 (北九州市立大学法学部政策科学科准教授)